

学校再編地域協議会 弥生小学校区部会（第2回） 会議録

日 時	令和5年6月3日（土） 17時00分～18時45分
開 催 場 所	フラワータウン市民センター 2階視聴覚室
出 席 委 員 （全 員 出 席）	門田委員、佐藤委員、戸田委員、山口委員、上野委員、白土委員、 森山委員、堀江委員、福井委員、北村委員、笠原委員、松下委員
事務局出席者	（学校教育部参事）外岡 明文 （学校再編課長） 上野 樹（主幹）石塚 誠（指導主事）岡崎 正文
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回地域協議会部会まとめ ・ 説明会等での主な意見等に対する教育委員会の考え方について （まとめ） ・ 各説明会での意見等の概要と事務局回答及び終了後の意見感想用紙 記載分に対する教育委員会の考え方について ・ 富士中校区児童生徒数の推移（推計）（R5.5.1現在） ・ 質疑応答 3. 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の重点課題について 4. その他 5. 閉 会
傍聴者の人数	6名

会議の概要

事務局	<p>1. 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会議公開の確認 傍聴者の人数報告（6名） ・出席委員の確認（委員12名 全員出席） <p>～外岡学校教育部参事 開会挨拶～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議資料の確認 ・令和5年度 新委員の紹介
事務局	<p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回地域協議会部会まとめ【資料2】 ・説明会等での主な意見等に対する教育委員会の考え方について （まとめ） 【資料3-1】 ・各説明会での意見等の概要と事務局回答及び終了後の意見感想用紙 記載分に対する教育委員会の考え方について 【別冊資料3-2】 ・富士中校区児童生徒数の推移（推計）（R5.5.1現在）【資料4】 —事務局より資料に基づき説明— ・質疑応答
委員	<p>この報告の別冊資料を見て、いろいろな質問が出ている。今まで保護者説明会などで説明してこられたが、説明会はいつも同じ内容で1時間30分しかとってない。だが、そこでアンケートを取り、参加者の意見をまとめたことについては評価する。</p> <p>しかし、事務局の回答があまりにもお役人的である。実際に弥生小の保護者が一番考えておられる。その人たちの意見がかなりあるが、事務局は子どもたちの目線で見えていないと私は感じた。質問に対する回答はお役人の文章であり、「理解してほしい」が多く、「これからこうする」などといった具体的な話が全くない。</p> <p>今朝も、この別冊資料のコピーを質問した6人に見せた。しかし6人中6人とも、「これが質問の答えになるのか」と言われた。そういう状況であるので、もう少し子どもの目線、保護者の目線で考え、地域の考えも含めないと教育委員会だけでは、再編は決められないと思う。</p> <p>弥生小学校の入学式も授業参観も見せていただいたが、本当に弥生小学校はいい学校である。1クラスの子どものが15人、16人で、それを一人の先生が担当するところがよい。子どもたちが生き生きとしていた。なぜこの子どもたちをわざわざ富士小と一緒にしなければならないのか。私自身そういう疑問がある。入学式で校長先生が言われたように、弥生小の伝統を守ってやってほしいと思うが、なぜ一方では学校を潰そう潰そうとしているのか。それも潰す理由が、通学距離とかいろいろ言っているけど、ピンとこない。とにかく保護者の意見を真剣に考えて、保護者だけの説明会を持って</p>

	<p>ほしい。</p> <p>新しい学校と言うけど、現実には、富士小学校に弥生小学校が吸収されるという感覚がある。いくら新しい学校の理念とか言っても、吸収合併されるということである。富士小校区では「弥生小が来るのだろ」くらいの感覚でしかない。いくら理念を説明しても無理である。だからもう少し、そういう意見を吸い取ってほしい。できないことはできないと言ってもらっても結構であるが、意見交換をきちんとやってほしい。</p> <p>これまで6会場で説明会を開催させていただき、様々なご意見をいただいた。その中で、保護者の方からのご質問、小中一貫校のこともあれば、特に最後の全体説明会の中では、「通学のことが一番心配だ」というご意見もいただいた。そういう具体的にどういう点が心配なのかということをお聞きしながら、それにお答えしていくことを、繰り返していかないといけないと思っている。</p> <p>先ほど、事務局の回答は「具体がない」とか「理解してほしい」ばかりという回答であるとお聞きしたが、もう少し、具体的なポイントで、例えば「通学のここが心配だ」というような具体的なことがお聞きできれば、我々も、具体的なところでお答えさせていただくこともできると考えている。</p> <p>それから保護者の意見に対して、我々が真剣でないというように聞き取れたが、我々は真剣に考えているし、真剣にお答えもしているつもりである。ただ至らない部分もあると思うので、そういったことを補うのがこの地域協議会であり、ご質問いただいたことにお返しするというやりとりの部分であると思うのでご理解願いたい。</p> <p>それから富士小の方も回らせていただいて、富士小校区の方からもご意見をいただいている。再編により新しい校区ができて、新しい通学ルートができるということで、その安全対策についても一緒に考えていかなければならないと真剣におっしゃっていた。その部分、誤解のないようにしていただきたい。</p>
事務局	<p>統合ありきでどんどん進めているから、まずは、統合するのかどうかを検討しなければならない。また、地域の問題として、どっちの学校になるのかによっては、跡地をどうするのかについても検討しなくてはならない。私は統合することに反対とは言っていないが、あまりにも説明が、まじめには答えているけど、お役人的である。真剣にやっていただくためには、今一度、弥生小学校の保護者を集めて、教育委員会からも来てもらい、どうやっていくのかという具体的な話をしてもらった方がいいと思う。</p> <p>別冊資料の文章をまとめることは大変だったと思うが、再編の結論ありきで進めているので、教育委員会の見解というより、初めから参加者の意見を潰すことを前提に文章を書いている。</p> <p>物事にはメリットとデメリットがあるはず、しかし、再編のデメリットは</p>
	委員

事務局	<p>ほとんど書いていない。こういうデメリットがあつて、それをどのように解消するのかということも素直に言ってほしい。</p> <p>メリットばかり言って、でき上がったらバラ色の学校ができるとか。理念は持っているけど、いじめがなくなるとか、ピンとこない。</p> <p>地域ではまた建設課とか来てもらって話し合いたいと言っていたが、一度、教育に絞って教育委員会と保護者との話し合いをしてもらえるか。それはどうか。</p> <p>弥生小学校の保護者向けの説明会は、4月22日の午前中に開催させていただいた。参観日と引き渡し訓練の合間の時間ということで、非常にたくさんの出席をいただいた。人数で言うと67人の出席があり、保護者のだいたい3分の2程度の出席になると思う。非常に多くの方にご参加いただき感謝しているところである。その中で、質問をお聞きして、お答えするというのも、時間に限りはあつたが、させていただいたところである。</p> <p>今日はPTAの方もご出席いただいているので、こちらとしては小規模の単位の説明会であっても要請があれば行かせていただきたいと思っている。また正式に要請いただければと思っている。</p> <p>それと、今、弥生小学校の小規模化も進んできている。学校の中で、先生方にできるだけ小規模化の課題が表に出てこないようにやり方も工夫してやっただいている状況ではあるが、より運営しやすい学校運営をしていくこと、教育内容についても、子どもたちの成長が促せる教育環境をめざしているというのが、我々が今回提案している内容である。</p> <p>これからの社会を生き抜く子どもたちに、必要な力をつける教育環境をつくるためにやっている。ご存知の通り、Society5.0、情報化の動きは非常に速くなってきている。国際的な動きも非常に活発になってきている。今までの日本は、高度経済成長に支えられて、たくさんの商品を同時に効率的に作るということで成長できたが、これからはそのやり方では通用しない時代が来ると考えている。先行きが見通せない社会になるということで、今国の方でも検討しているが、これからの子どもたちに求められているのは、今までであれば、答えのある問題であり、知識の量が多いとかが評価されてきたが、これからは、情報を集める中で、自分たちで考え、自分の考えを相手に伝えて、相手の考えも聞いて、より正しい答えを導き出していこうとする、そういう教育を展開していかねばならない。そういった中でいくと、これまでの知識の詰め込みではなくて、話し合いの中で答えを導き出していく、自分がない力を友だちが持っているのであれば、その友だちから刺激を受けて、自分にその力を補っていく、そういう経験をたくさん積める学校、教育環境が必要になってくる。そういうところで今回、再編ということを提案させていただいている。</p>
委員	<p>今の話、気になる。統廃合の話と、これからは知識を詰め込むのではなく、</p>

	<p>自分で考える力をつけることと、どう関係あるのか。</p>
事務局	<p>我々は、よりよい教育環境を作るために、学校再編の話をさせてもらっているということである。</p>
委員	<p>私は、違うと思っている。教育委員会は、より良い教育環境を作ろうと本当に思っているのか。子どもの立場を考えて言っているのか。別冊資料の文章を読んだら、結論ありきで進めているような文章である。</p> <p>今言われた「自分で判断し、考える」ことは大事である。しかしそれは反対に少人数の方がいいのではないか。「自分らの意見を言って、それをまとめる。今は答えのない時代」と言われていることはよくわかる。ただ、それは少人数の方が、指導しやすいのではないか。</p>
委員	<p>この資料を読ませていただいて、いろんな立場の考え方があるわけで、1つに、まとまるということは、なかなか難しいと思う。</p> <p>去年の6月から、あり方検討委員会が始まり、それから再編協議会が2月から始まって、その後に保護者や地域の説明会が開催された。説明会をかなりの頻度で、やっていただいているということについては、非常に丁寧に進めていただいているという感想を持った。</p> <p>それで、これまでの会議でも、言っていることであるが、実際、弥生小学校の1学年1クラスがもう10数年続いている。この状況を「良し」とする意見は、ほとんどなかったのではないかと思います。実際、この資料を読んでも再編そのものについては、「やむを得ないのではないかと」、「その方がよりいいのではないかと」というような意見の方が多かったような気がする。</p> <p>最終的に再編するかどうかで、再編するならば、いつ、どこの敷地を使ってやるのか、これについては、やはり教育委員会の方でリーダーシップを取ってやっていただかなければいけないというように思う。</p> <p>ただ、そのどちらの学校にするかというあたりのところで、例えば保護者の方で、市教委の提示の中では、徒歩約20分のところが、実際に歩いてみると27分かかったという意見があった。市の提案している内容と、実際、保護者の方のずれの部分がある。最終的にどちらの学校かということについては、教育委員会がリーダーシップを取っていただくことに異論はないが、やはり実際の意見との齟齬の部分については、丁寧な説明をしていただきたいと思う。</p> <p>質問として、3点あるが、1つは、統合時期について、早ければ今年の冬に方向性が固まれば、来年、1年間を準備期間として令和7年度開校ということがある。また、一方では、この協議会については、一応2年間ということとスタートしたと考えると、開校は令和8年になるかもしれない。その辺の判断をどのようにしようとしているのか。</p> <p>それから2点目は、跡地利用の部分で、例えば、弥生の地域の中で、スポ</p>

ーツクラブ21などから、いくつかの意見が出ている。また避難所のことについては、防災の部署と、実際に話もされているように聞く。しかしその他の跡地利用については、いわゆる、まちの再生部が担当であると、こういう言い方である。防災的な面もあるが、これは弥生地区だけでなく、フラワー地区にとっても大事なことである。例えば体育館であるが、フラワー地区には市としての体育館がないわけである。その辺りのところで体育館であるとかグラウンドであるとか、それから、例えば北校舎の図書館であったり調理室であったり、こういった部分もいわゆるまちの再生のところで、市長部局でしか判断できないのか。例えば建物を取り壊して、いわゆるフラワータウンの再生計画等と絡めて、中長期的にやっていかなければというと、その部分であれば、それはやはり市長部局なり、再生の担当部局の方の意見が多くなると思うが、少なくともグラウンド、体育館を含めた、地域としても実際に今活動している部分、使っている部分の中で、やはり使いたいという声があるわけである。

少なくともその辺りについては、教育委員会としてもっと主体的なところで見解を述べて、ある程度のことは言ってもらっていいのではないかという気がする。その具体的なところが全く見えてこない。これについては色々なことを具体化されるまでに、地域の願い、思いを丁寧に拾い上げていただきたらと思う。

それから3点目、準備会であるが、通学路の安全面であるとか、新しい学校の名前をどうするか、この辺りについては、再編が決定後、準備会で検討していくと、そういうような文言が何か所も出てきているが、この準備会はどんなメンバー構成でなされるのか、今の時点で、お聞かせいただける状況があれば、お願いしたい。

事務局

1点目の統合時期というご質問であるが、例えの話として、今年度の秋、冬に決まれば、令和7年4月の開校になると思うと、説明会の中で同じ質問に対して答えているが、例えば、令和6年の春、3月、4月になるようであれば、令和8年4月になるということも合わせてお答えをしているところである。地域協議会で協議をいただく中で、再編についてどうなのか、統合場所についてはどうなのかといったところの意見がどの時期にまとまるのかによって、実際の開校時期が変わってくると考えているので、ご理解いただきたい。

2点目の、跡地利用については、まちの再生部が担当で、情報共有は常にしている。説明会で、こういう意見があったということも、伝えているし、もちろん、この地域協議会、部会で出た意見も伝えて共有するようにしている。その中で、跡地の活用についての部分は、まちの再生部が所管して、具体的な検討をまとめていく。

もしくは、地域の皆さん方に説明や協議なり、進め方についても、そこで、やっていくと考えている。もちろん、我々が聞いたご意見は、しっかりとお

伝えをしているところである。体育館なりグラウンドを残すというお話もあったと思うが、それについては、大変申し上げにくい、教育施設として使っている間は、教育委員会が所管しているが、一旦、跡地となった場合に、どこが所管するのかといったところについては、今現在、内部で調整中である。基本的には、市の税金で建てているので、市有財産であるということには変わりはないが、どこが所管するかといったところについては、今後、検討が必要だと考えている。

教育委員会としての見解も述べてほしいというご意見もあったが、それについては、その時期も含めて、どのような扱いをするか、今現在、内部で検討しているので、富士小、弥生小の再編統合に限らず、上野台、八景中学校の話や、幼稚園の方でもいくつかあるので、そういったところと合わせて、跡地活用についての基本的な考え方を一回まとめていく必要があるということで、今現在作業をしているところである。

準備会のメンバー構成であるが、まだ確定しているものではないが、今集まっていたいただいている方々を中心にしながら準備会ができないかということを考えている。ただ、役員さんが組織内部で交代される場合もあるかと思うので、そういったことについては、柔軟に対応していく必要があるかと思う。地域の皆さま方、それから保護者の皆さま方と一緒に、こういう協議の場を設けて、その中で具体的な準備の項目を挙げて、具体的に毎回毎回、これを決めよう、あれを決めようということができたらと思っている。

委員

今、混乱しているのは、先にもう学校を決められて、弥生小から富士小へ行くという前提から、いろんな心配事の問題が出てきているのだと思う。

昨年从我々が最初に議論したことは、小学校が1クラスになっていて、教育活動に課題がある。将来を考えても大変なことだが、学校再編についてどう考えるかという話であった。このことは弥生が丘ではもう10年近く前から課題として上がっていて、地域としても大きな課題として捉えているところである。そして小規模校のメリット、デメリットがあるという中で、まあこれはやはりそういうことからすると、ここ10年のことを考えたら再編も仕方がないというところまで来たと思う。

そういうことで、地域協議会の1回目の時に再編の説明をされて、場所が富士小学校だという形の中で、理由が3点ほど言われてきたが、地域からしたら「一体何なのだ」という話になった。私もこの説明会の中で人口重心の話だとか地域の状況を聞き、またPTA等のいろいろな意見が書かれている資料も一通り読ませていただいたが、弥生が丘の場合は特に1丁目のマンションが1番離れており、そこに子どもさんがたくさんいるわけである。そういった人口的な子どもさんのウエイトからすると、いろんな課題もあるということであるが、市教委から出されたものは、あくまでも4丁目からの距離は何kmと書かれているだけである。そして、この資料をよく見たら、4丁目も5丁目も子どもたちの中心ではなしに、どちらかといえば富士小学校に近

いポイントから、測っているようなところもあって、それはどうなのかという思いがあった。

質問としては、全体的な説明会も開かれ、質疑応答もされて、真摯に答えられているが、我々が協議会で、再編の是非だとか、時期をどうするかというのを決めるとなるとどうなのか。まず、その前に教育委員会として説明会に回られて、率直なところ個別の話ではなくて、どういうように受け止められているかお聞きしたい。

それからもう1点は、フラワーの再生計画、教育委員会とは違う次元でフラワータウンの再生がされている。これは令和13年に向けて10年計画でされるということだが、この学校再編もあるから、そういったことに対して、どちらの学校になろうともこの問題というのは大きな課題としてあるわけである。このことは並行してやっていかないと、教育委員会の責任ではないにしても、これは市としてはこのフラワー全体の少子化対策に対しても、若い人を入れるようなことをするのかとかいろいろあるが、弥生としても、どういう形でという話がないままに、当面の問題として、どちらにしても、避難所の問題、それからグラウンドの跡地活用の問題、空き教室の問題、中長期的に全部をどうするかというのは後にしても、当面の部分では、フラワーの再生にまきに入ってくるだろう。中学校の再編もその中に入ってくるかもしれないことからすると、再生の動きというのは、こちらの方と並行してやっていく必要があるのではないかと思う。市長部局へ物を投げているだけではないかと思う。これはちょっと感想だが、その辺のところについても、もっともっと市長部局の方も積極的な意見交換ができるような形をしてもらいたいというような感じがする。

教育委員会だけで解決できない道路の問題とかいろんな問題というのは、市の中の各部署でやってもらわないといけない部分があるわけなので考えてほしい。

質問としては、説明会での質問や意見に対しての率直な意見や感想について、思いもよらなかったのか、いやいや、予想通りだったのか、それが聞きたい。市教委から具体的に富士小学校という形で出されているので、それに対しての懸念、1年生が入る場合にも、1丁目の方からすると心配。これは、どちらにせよ、富士が弥生小に来ることになっても、同じ問題があるが。学校名が出ているから、余計にその辺の話が出るという気がする。

事務局

たくさんのご意見をいただいた。具体的なご質問、ご意見を言われる方もいるし、これから先の、例えば、「小中一貫教育についてどうなのか」ということなど、今後のことを考えて質問される方もおられた。我々が今やろうとしていることは、未来に向けて、子どもたちの教育環境をよくしていくという中で、今の生活との変化というのは必ずあると思っている。その中で保護者、地域の皆さん方が感じておられる不安などを、1つ1つ解消なり、取り除けるようにしていくことが必要だと感じている。説明会でお答えをさせ

ていただいたことが、100パーセントの答えではないが、その時点で答えられる、できる限りのお答えをしたつもりであるし、今後、答えきれてない部分については、関係部署ともしっかりと連携をしながら、答えていく必要があると思っている。

それとまちの再生の部分については、言われる通り、教育委員会で所管できる部分というのは限りがあるので、しっかり情報を共有しながら、進めていく必要がある。今進めている期間というところも、再生の取り組みと重なっている部分もあるので、どのタイミングで、どの時期に出すのが1番、適しているのかということもあるが、今お聞きしたようなご意見をしっかりと伝える中で、皆さん方にも、情報が伝わるように、まちの再生部にも伝えていきたい。動きとしては、皆さん方と顔を合わせる時期は必ずあるし、それと、まちの再生部の取り組みが進めば、皆さん方も関わりを持たれることもあるかと思うので、そういったところを十分に理解しながら進めていくようにしていきたいと思っている。

委員

ここへは、PTAの代表として来ているので、私の個人的な意見を述べる場ではないが、保護者の方から、「結局、統合するの」とよく聞かれる。「統合するの」と聞かれた時は、「します」「しません」「まだわかりません」のどの答えが正解なのかがまず1点教えていただきたいのと、個人的に、お手紙とか、保護者の方から口頭で質問いただいたことがある。それが4点ある。

まず、弥生小学校の児童の減少は、先ほどもお話があった通り、わかっていたことなのに、なぜ今この時期にこの再編の話が出てきたのか明確に保護者に伝わってこない。なぜ今再編するのかという明確な答えが欲しい。

2つ目は、他にも小規模校があるのに、なぜ弥生小と富士小が再編して、富士中学校との小中一貫校としてトップランナーをめざす必要があるのか。他にも小規模校があるのに、そこをトップランナーとして、再編してもいいのではないか。

3つ目、登下校について不安がある。見守りなどで地域の方々の善意に頼るだけではなく、公的に安全を保障する対策を明確に、教育委員会から提示してほしい。

4つ目は、令和5年4月22日土曜日、体育館での保護者説明会が行われたが、質疑応答の途中で教育委員会の方から一方的に打ち切られた。そのことについて不満を持っているので、もう一度、PTAとしての意見の集約をしてほしいという意見をいただいている。

あと、この場、今この時間にお伝えすることかわからないが、校長先生にも、伺いたいという保護者の意見がある。

まず1点目が、前校長先生が令和5年2月13日の地域協議会の後、この場で、「保護者の皆様、勘違いしないでくださいね」という前置きがあった上で、「弥生小学校がなくなると決まったわけではなく、これからどうして

	<p>いくのかを話し合う会議がスタートしたのです。保護者の皆さんにも意見を出してもらうためにアンケートなども考えましょうね」という発言があった。このアンケートを保護者の方にとるということは、どの時期に、今この役員でどういように進めたらいいのかについて聞きたい。</p> <p>あともう1点、クラス替えができる学校にいじめがないと、校長先生が前職で説明会に来られた時に発言されたが、クラス替えができない学校には、いじめが絶対にあるのか。</p> <p>今日の会議を知らなかったという保護者がおられた。「前年度はミマモルメ（学校一斉メール）で保護者に通知があったが、今日の会について周知しなかったということは、やはり学校長となっても統合を推進されるのか」という意見であった。</p> <p>前年度の2月の地域協議会の時の「弥生小をなくすということが決まったわけではない」という前任校長の話については、この地域協議会の場で協議をして、意見をまとめるという場になっているので、校長の発言として、その時点での発言は、間違いではないと思うし、アンケートというのも、皆さんのご意見を聞くという、機会の1つの方法であると考えます。前回も説明会をして、67人のご出席もいただき意見も聞いているが、そういう意見を聞く1つの手法の部分で、その発言自体も、否定するものではない。</p> <p>クラス替えといじめということについては、今回、再編という中で、示している中では、クラス替えができる環境を作るというのが、1つの方法であると考えています。いじめ自体がこの世の中から、絶対なくなるのかと言ったら、何かの拍子に子どもたちが、そんなつもりはなくても、結果として、いじめてしまうということが起こりうるというのは、これは可能性としては0ではないし、否定できないところである。ただ、いじめがずっと続くようなことは、教育する立場の者としては、あってはならないことだと思うし、それを予防的に防ぐということも全力を挙げてやっていく必要があると思っています。クラス替えができるという環境を作ることも、非常に重要な1つの方法になるというところで、今回、再編を提案する中の理由の1つに挙げているところである。いじめがない方がいいとは、我々ももちろん思うし、保護者の方々も願っておられることだと、十分に理解しているところであるが、子どもたちの関係の中で、可能性としては0ではないにしても、それを予防的になんとかしていく、それからたくさん先生方の目で見守ることで、いじめを防ぐことができたり、子どもたちの人間関係の中で、クラス替えをすることによって、また新たな気持ちで、友だちを作るとか、新しい人間関係を作るというところに進みやすいのというのが、この2クラスあるという教育環境であり、再編のめざしているところである。</p>
事務局	<p>前年度の2月の地域協議会の時の「弥生小をなくすということが決まったわけではない」という前任校長の話については、この地域協議会の場で協議をして、意見をまとめるという場になっているので、校長の発言として、その時点での発言は、間違いではないと思うし、アンケートというのも、皆さんのご意見を聞くという、機会の1つの方法であると考えます。前回も説明会をして、67人のご出席もいただき意見も聞いているが、そういう意見を聞く1つの手法の部分で、その発言自体も、否定するものではない。</p> <p>クラス替えといじめということについては、今回、再編という中で、示している中では、クラス替えができる環境を作るというのが、1つの方法であると考えています。いじめ自体がこの世の中から、絶対なくなるのかと言ったら、何かの拍子に子どもたちが、そんなつもりはなくても、結果として、いじめてしまうということが起こりうるというのは、これは可能性としては0ではないし、否定できないところである。ただ、いじめがずっと続くようなことは、教育する立場の者としては、あってはならないことだと思うし、それを予防的に防ぐということも全力を挙げてやっていく必要があると思っています。クラス替えができるという環境を作ることも、非常に重要な1つの方法になるというところで、今回、再編を提案する中の理由の1つに挙げているところである。いじめがない方がいいとは、我々ももちろん思うし、保護者の方々も願っておられることだと、十分に理解しているところであるが、子どもたちの関係の中で、可能性としては0ではないにしても、それを予防的になんとかしていく、それからたくさん先生方の目で見守ることで、いじめを防ぐことができたり、子どもたちの人間関係の中で、クラス替えをすることによって、また新たな気持ちで、友だちを作るとか、新しい人間関係を作るというところに進みやすいのというのが、この2クラスあるという教育環境であり、再編のめざしているところである。</p>
委員	<p>今は立場も変わり、125人の子どもをとにかく精一杯伸ばして、精一杯自立させて、支援がいる子は、しっかりと支援をするために、アセスメ</p>

事務局	<p>ントしてやっていく。それが自分の仕事であって、今そこを精一杯やっているところなのでご理解いただきたい。</p> <p>それとミマモルメについては、教頭に確認して、開催前に発信していく。今回はこちらがぬかっていたので、次からは発信していきたい。</p> <p>今回、協議会に校長に入っていただくという1つの趣旨であるが、校長として統合が必要である、必要でないという意見表明をするために、出席をしているものではないと我々は考えている。1つは、その学校の子どもの状況を尋ねられた時に、今の子ども状況はこうであるというところで校長としての見解を述べていただく、そのような立場だと思っているので、委員の1人ではあるが、意見を表明すべきだということは、校長としては控えていただきたいと考えている。</p>
委員	<p>校長先生は、大変だと思う。こういう形で揉めてるといふか、色々意見があるところで、前まで教育委員会におられて教育委員会の立場で言われていた方が、弥生小に来られているということ。</p>
事務局	<p>おっしゃる通り大変だと思うが、校長の立場で考えると、今は表明する立場ではないということをご理解願いたい。</p>
委員	<p>だから委員としては、意見を言えないということだね。</p>
委員	<p>何点かあるが、基本的にこの資料、別冊資料を見ていて、弥生小校区と富士小校区では、ものすごく熱量が違う。弥生小校区の方は、すごく反対意見が盛んに出ているが、富士小校区の方は、どっちかと言えばウェルカムの方が強いように感じる。私自身も統合には賛成であるが、ただ、それが富小学校に行くということについては、ちょっとそれはどうかと考えている。その辺が、はっきりしてないところで、教育委員会から富士小に再編するという話が出たから、みんなからこういう反対意見が出ている。それが、立場が逆だったらどうなのかと思う。富士小を弥生小に統合すると言えばどうか。弥生小校区に新しい名前でも統合しますという形になった時に、富士小校区からもやはりそういう反対意見が出てくると思う。だからその辺を、もうちょっと時間をかけてやるべきではなかったのかと思う。まず富士小に統合する、それはおかしい話で、そこから話が始まることがおかしいことである。</p> <p>そして、それを一般の方は最初に知らされた。新聞とか報道で「何これ」と、これまでに統合という噂もあったけども、なぜ富士小に行くのか、なぜ富士小の方に移るのかというところで、皆さんが疑問を持たれたと思う。それで、それ以降は、やはり反対意見が出てきているので、その辺、もうちょっと時間をかけてやるべきではなかったのかと思う。</p> <p>もう1点は、例えば、弥生小が富士小に統合されたとなった時の地域活性</p>

というのか、若い子が全て、富士小に通うような形になってくるので、地域的にはだいぶデメリットの方が多いと思う。それで、その辺まで考えているのかということと、先ほどからあった再生計画、その辺との兼ね合いで、新しい若い方が住んでこられるかもわからないし、その辺も考えて、もうちょっと時間かけてもいいのではないかと、早急に2年、3年でできるものでもないと思うし、もうちょっと時間かけて意見を集約してやるべきではないかと思う。それで、この場で最終結論を出せと言われても、はっきり言って出せないと思う。これだけ弥生小学校区で反対意見があるのに、結論を出せと言われても、そんな地域が真っ二つに分かれるようなところで結論を出すというのは非常に難しいのではないかと。ところが、富士小校区では全員一致でオッケーとなった場合に、多数決で富士小に統合されることになってしまうのか。もうちょっと時間かけてもいいのではないかと。そんなに焦る必要があるのか。

事務局

焦っているかということ、焦るものではないとは思っている。議論をしていただいて、その結果の中で、地域協議会としてのまとめが必要だと思っている。今回は、弥生の部会であるし、また別の日には富士の部会も設ける。そして一定このメンバーの意見がまとまった段階で、また全体会というのにも必要になってくるであろうし、また、それ以外にも、全体会で先にこれについては話し合っておこうということがあれば、全体会も適宜開催することも考えている。今、説明会で様々なご意見をいただいているが、説明会に来ておられない方もいる。2月から動き出して、まだそんなに日は立っていないので、今お聞きしている部分を順次、答えであったり、課題を解消するような部分の動きであったりとかを重ねる中で、皆さん方のご意見がどうなのかということ、見ながらやっていく必要があると思っている。

それと2、3年というところで話もあったが、それで焦っているわけではないが、ただ、この富士と弥生という非常に近い場所にある、こういうエリアというのは、市内でもそうそうない。極端な話、農村部に行くと、学校まで5キロあるという話もあるので、そういった地域での再編というのは、いろんな課題というのがもっともっとたくさん出てくる。富士と弥生という校区の中で考えた時に、新しい学校を作るということである。だから、弥生の学校がなくなるという発想というより、富士と弥生の、少し校区が広がるが、そこに新しい学校を作る。例えば名前が弥生富士小学校でもかまわない。そういう学校を作るということを念頭において、協議いただけないかと思っている。よりよい教育環境をつくるための方法の1つが、再編であるということでご理解いただいて、協議の方をお願いしたいと思っている。

委員

あともう1点、なぜ最初から一般の方に知らされる段階で、富士小に統合という話になったのか。全く白紙のところからやるべきではなかったのかと私は思う。いろいろと人口重心とか考えて、やられたと思うが、そういう風

	<p>にやるから、逆に出来レースと言われるのであって、その辺がちょっとおかしいと思っている。話の持って行き方がおかしいと思ってしまう。</p>
事務局	<p>事前に、学校のあり方検討会を、昨年6月から持たせていただいて、進めてきている経過があるが、その中では、富士小学校に再編ということは一切言っていない。</p>
委員	<p>言っていた。「ここだけの話ですが」とか言って、言っていた。</p>
事務局	<p>そんなことは言っていない。誤解のないように言うておく。</p> <p>学校のあり方検討会の中では、子どもたちの人数が減り、学校の小規模化が進む状況を見てどうかということで、ご意見をお聞きした。フラワータウンの2つの中学校、4つ小学校を回らせていただいて、こちらから、各校の小規模化が進んでいく状況や課題を委員の方に伝えて、それに対するご意見をお聞きさせていただいた。その中で、教育委員会として、一定、フラワータウン地区の中で、小規模化が進んでいる弥生小学校、それから、今後急激に小規模化が進む富小学校での再編が1番必要ではないかということで、この協議会を立ち上げるに至ったという状況である。</p> <p>2月13日の初めての地域協議会で、再編についての市の考えを一旦、示させていただくということで、提案した。それが富士小学校でという再編の計画や考えである。そういう経過があるということで、まずは、その部分についてご意見をいただければと思っている。</p>
委員	<p>富士小学校と弥生小学校には確かにそういう小規模化の問題があることは言われたが、富士小学校に持っていくという話は、今言われた通り、2月の地域協議会で発表された。ただ、我々、その時に思ったのが、富士小学校に行く理由が、距離が問題とか一方的に言われて、こんな理由で弥生小が潰されるのかと思った。新しい学校の理念とか言われるけど、子どもや親の感覚は、弥生小が潰れて富士小学校へ行ってしまおうということである。いくら新しい理念を作ったと、そんな理想論を言っても、子どもや親はそうは思わない。そこらがピント外れであり、教育論になっていない。</p>
委員	<p>あり方検討会で話していた内容については、全くオープンになっていないように思う。私は突然、統合という話になって、オープンになったような気がするが、その点どうなのか。</p>
事務局	<p>あり方検討会は公開の会ではない。小規模化の状況に対して、それぞれ集まっていたいただいた方々の意見をまずは教育委員会が聞くというスタンスの会になっている。そしていただいた意見を教育委員会として今後どうするかを考えて、地域協議会の設置に至ったということである。あり方検討会と</p>

委員	<p>というのは、あくまで意見聴取の場であるから、協議する場ではないというところでご理解をいただきたいと思う。</p> <p>あり方検討会が急にできて、メンバーも決まっています、意見を言っても、もうみんな決まっているような言い方をされて、合併についてもちょこちょこ出してきた。私は4回、全部出ているが、今言われたような意見聴取とか、理由付けが結果ありきである。これまでの会の流れをずっと見ていて、初めから富士小学校に行くような感じがした。もう全部が結果ありきで、とりあえず説明会をして、結果ありきで進んでいる。</p>
事務局	<p>あり方検討会の1回目からそのように感じられたということだが、事務局は、一切富士小とは言っていない。</p>
委員	<p>あり方検討会の時は、さきほど説明されたように、「再編をすることについてどうか」と、白紙で意見を聞かれたと僕は認識している。富士小、弥生小のどっちに統合するか関係なしに、やはり再編は必要だというのが大半の意見であった。確か委員も、「私は再編には反対はない」と言っていたことを私は覚えている。</p> <p>ただ我々が、富士小校区と綱引きをして、弥生小に来てくれということではできないと言った。だから、市の方で方向性を出してほしいと言ったのが1点と、その時に前のPTA会長なんかも、自分だけの意見だけではなかなか大変やから、皆さんに説明する機会を持ってほしいという話もあった。</p> <p>ただ、残念なのは、1回目の地域協議会の全体会で、先に富士小に統合することを言われて、説明会もそこからのスタートになったから、ちょっとその辺のところ、今こういう反対意見につながっているのではないかと思う。</p>
委員	<p>やはりこれは最初から答えを出したことが問題で、この協議会自体、最初に富士にと言って、よくわからない理由付けをしたから、今こうやって揉めているし、なぜ富士に行かなければならないのかという話になっている。子どもたちも親もみんな悩んでいる。やはりこのことを教育委員会は真摯に受け止めてほしい。「こういう時代だ」とか、「いじめはない」というような文章では納得はできない。</p>
委員	<p>委員になる前は、再編の方がいいと思っていたし、いろんな人の話を聞いても、これからは再編という話も聞いていたが、この4月、5月、役員としてPTAの中に入ってみると、今の状況に不満があるお母さんってどこにいるのかなというぐらい、今、先生たちや地域の方がすごくやってくださることに満足していて、この人数、この場所で、教育を受けることができていることを、すごく、ありがたいと思っている。都会と同じような教育は受けら</p>

れないかもしれないが、そこに合わせる必要もないのかなと思うし、インターネットなども普及しているから、いろいろな情報も入ってくる。学校が大きくなれば考える力をつける教育ができるのかもしれないので、それを手放すことは惜しいと少しは思うが、小さい学校ではのぼのぼとしている小学校があるまちも、都会の人から見たら魅力的かなとも思う。

これから中学校も再編の問題になるというのが、ちょっと理解ができない。これからどんどん人口が減っていくだろうが、弥生の方が、お店もあるし、ATMもあるし、郵便局もあるし、人が集まるまちではないかと思っている。

委員

根本的なことを教えていただきたいが、私も含めて、高齢者の方は、「自分らの時は、1学年10クラスあったよ」とか、「10何クラスあったよ。今の子はかわいそうやね」とよく言われるが、なぜかわいそうなのかと思う。この前の運動会に行っても、子どもたちが元気で楽しくやっている様子を見て、これでいいのではないかと思った。教育委員会の方は、「組体操ができない」とかいろいろと言われるけど、今の状態で十分ではないのかという感じがする。基本的に、なぜ「かわいそう」と大人の意見を入れるのかと思う。子どもたちは全然そんなこと感じずにやっているのだから、僕自身は、別に、少ないから課題があるとあまり感じない。教育委員会の人とは考え方が違うのかもしれないし、人員配置の問題とかいろいろあるとは思いますが、子どもだけ見たら、楽しそうにやっているなど、この前の運動会を見て、僕は思った。

事務局

今の状況というところで、特に、子どもは、楽しそうにやっているということで、不満はないというところかと思う。これまで、他市でもこういう再編の取り組みは、実際にされているところで、子どもたちにとってというか、保護者にとっても、地域の方にとっても、学校が再編するというのは非常に大きな出来事であり、再編にそれだけの意味があるのかというところは、自分自身なり、そこに住んでいる人として、問い返しをする場面が、必ず出てくると思っている。

ただ小規模化することで、できなくなる、例えば、他の適正規模の学校であれば、こういうことができるのに、人数の小規模な学校、単学級の学校や、複式学級が入っているような学校では、こういうことができなくなるなどというところは、感じているところである。実際に、まだ1クラス16人程度いるので、なんとか、今工夫しながら、小規模の課題が表に出ないような形でやってきているところではあるが、これが、例えば1クラス10人を切るようになれば、ソフトボールもできない。同じ学年で、同じ成長段階の中で、できないことが出てきたり、増えてくるということが、我々としては非常に心苦しい。

同じ日本に住みながら、近くに学校がある中で、そういう環境でしかできないということは、今は子どもたちが楽しそうにしているからいいが、将来

	<p>その子どもたちが大人になって、他の人たちとの経験の違いというのがやはり出てくるので、そういう違いをできるだけなくしたいというのが、今再編を進めている我々の考えの元にある。</p> <p>だから今の子どもたちの様子だけでなく、将来を見越した時に、これから先行きが見通しにくい社会になるという中で、子どもたちにどういう経験が必要で、どういう能力が必要で、人との関わり方についても様々な経験を学校にいる間にできるだけさせてやりたい、そういう中で再編を進めようとしている。子どもたちが非常に楽しそうにしているということは、学校の工夫もあるので、そのように感じていただいていることを我々としてもありがたく思うが、将来を考えた時に、非常に心配なことが多いというところで、今やろうとしている再編についてご理解いただけたらと思う。</p>
委員	<p>こういう会議を開催していることを、周りの人はほとんど知らない。皆さんも興味があつて、PTA で意見を出した方も、自分の意見に対してどのように市が回答されているのかもわからない。PR が全然できていない。資料にはホームページに載せて、積極的にやると書いてあるが、積極的にやってない。傍聴者もこのように少ないというのは、いちいち三田市のホームページを見る人などいない。だからその辺の PR を自治会も、地域にとって必要なことなのだからやってほしい。</p>
事務局	<p>この地域協議会は、この地域協議会のメンバーの方々で協議していただくのが第一義的な場となっている。説明会は、広く PR をして、たくさんの人に来ていただくということは、これからも十分やっていくが、この地域協議会自体は、委員の皆さん方が一番集まりやすい日時で設定をしているので、あらかじめこの日のこの時間にと、2か月前から周知を準備できる説明会とは違うことは、ご理解いただきたい。</p>
委員	<p>会議の日時が決まった段階で、もっと自治会とか、そういうところで PR してほしい。このことはみんな興味のあることだから、誰がどういう発言をしているとか、知りたいと思う。今日の会議を知った人は、皆さん興味あるから来られている。説明会と違うと言うけれど、再編の話がどのように進んでいくのか、みんなわからない。先ほどの意見でもあつたが、知らない間にいきなり再編の話が出てきたようにならないように、再編の話が、今どういう流れでどうなっているかは知ってもらわないといけないと思う。会の日時が決まったら、何らかの形で周知してほしい。誰もホームページなど見していない。これでは前のあり方検討会と同じ秘密会と一緒だ。</p>
事務局	<p>この地域協議会は秘密会ではない。ここで協議した内容は全てホームページで公開する。</p>

委員	ホームページに載っていても、どういう発言があつて、どういうやりとりがあつたのかわからない。
事務局	発言内容も見ることができるようにする。ただ、どの委員がどういうしぐさで発言したかというところまでは伝わらないが、発言内容については全部、文字起こしして掲載する。
委員	録画してホームページに載せたらいい。
委員	ちょっと、教育委員会に注文したいことがある。今 PTA の人らが心配しているように、統廃合のメリットは、せめて資料を渡した時点で読めばわかるようにしといてもらわないと、僕らはこの話を何十回も聞いている。せめて、この会議に出てくる人が、最低ここまでやって決まっている、こんな理由で統廃合をするのだと理解しておいてもらわないと。そして教育委員会もロマンを語ってあげないと、統合したらこういういいところがあると。デメリットも一緒に載せておいてもいい。
委員	回答がちゃんとした回答になっていない。だから質問することになる。その辺もちょっとわかりやすく回答していただいて。
委員	<p>小学校の説明会で質問された内容に対する回答が完璧でなかったと言われていたが、この資料を見たら、小学校だけではない、中学校もそのうち再編になると、みんなそちらの不安の方があつた。今は小学校のことで、「弥生小、弥生小」と言っているけど、今度は富士中も再編となる。弥生小の子は富士小に行って、また富士中でも再編になるのか。資料には「統廃合を経験した子がまた統廃合にならないようにはします」とは書いてあるけど、やはりその辺を考えて、中学校から再編を進めていくべきではないか、私はこの会に出ていてずっとそう思っている。難しいことは確かであるが、だからここ 1、2 年で決めるのではなくて、フラワータウンというまち全体を考えて、市役所でも検討していただきたいと思う。</p> <p>—傍聴席より発言を求める声あり— 事務局より「傍聴者は発言をご遠慮いただきたい」旨、「会議終了後に対応する」旨を説明</p>
委員	今後の進め方だけ決めて終わったらどうか。
事務局	今日は、様々ご意見をいただいた。我々としてしっかり受け止めていく必

要があると思っている。今後の進め方ということで、今日は、説明会で出た意見について見ていただくということが1点、それからそれに対するご意見をいただくということ。それから今後、進めるにあたって、先ほど委員の皆さん方からも出ていたが、再編の必要性といったところについてどうなのかといったところを、まず第1段階の話し合いのポイントにする必要があると思っている。要は、小規模化が進んでいる課題を受けて、再編が必要かどうかというところを、委員の皆さん方の中で協議をいただく。

その次の段階として、今回、教育委員会から、富士小学校でということ提案させていただいているが、一方で、地域協議会や説明会の中で出ていたが、弥生と富士とどちらなのかというところで、比較検討できる資料は出せないのかという意見があった。そういった資料について、こちらで作成をして協議していただく。そこまでが1つのポイントではないかと考えている。まずはその2点について協議いただくことを考えたい。

そのあと、説明会で出ていた意見の中で、例えば通学というところが非常に保護者の関心であったり、不安であったり、我々も、その部分は大事にしていかなければならないと思っている。また課題意見で、「小中一貫教育がわかりにくい」という意見もあったので、説明する機会や、「こういうようなことをやったらどうだ」と、「新しい学校であればこういうこともできるのではないかと」といったところも、次の学校に向けた希望というか、夢というか、そういったところの協議もしていく必要があると思っている。まずは、再編の必要性、それから、富士と弥生の比較、そして、あとは課題となる部分について協議するといったところで進めていきたい。大体このような形で考えているがよいか。(異議なし)

4. その他

事務局

以前、全体会や部会の中で、それぞれの学校を、全然知らないので見学したいという意見が出ていたが、学校を見学する機会についてはどうか。

委員

再編の話が前に進むだけだから、しなくてもいい。

事務局

他の委員はどうか。したいということであれば、学校を見学する機会を計画をさせていただくが、今はやめときたいという意向であれば、計画しないがどうか。

委員

富士小から弥生小にも来てもらわなければ。

事務局

もちろんそうである。互いの学校の見学会である。
次回の部会については、2か月に1回程度の開催ということで、8月ごろに開催することとしたい。(異議なし)

見学会については、例えば7月ごろの子どもが学習している時間帯に見てもらったらどうかと考えていたが、9月以降で検討するという事によいか。(異議なし)

5. 閉 会

～外岡学校教育部参事 閉会挨拶～